

大界木山

M・T

期 日：3月16日（水）

コース：自宅5：30→道志の森キャンプ場・落合橋→鳥ノ胸山登山口登山口8：12→雑木の頭
9：39→平指山10：02→浦安峠10：26→大界木山登山口10：31→大界木山
11：32→城ヶ尾峠12：02→城ヶ尾山12：21→城ヶ尾峠12：34→落合橋
3：30

参加者：単独

報 告：



落合橋のすぐ先左側に鳥ノ胸山登山口が有る。標識が奥に有るので注意しないと見過ごす。登山道とは思えない荒れた道が始まる。

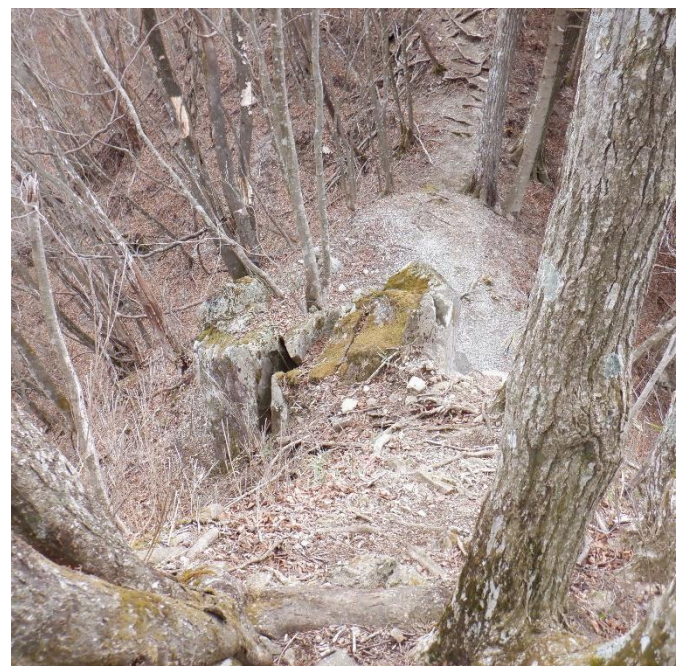
ざれた滑りやすい道が続くが白やピンクのテープが賑やかについている。



杉林の中の登りが続く。



岩の右横を下りたが、滑りそうなのでしっかり岩に掴まった。2年前はここを登った。



御正体山？

今倉山？



雑木の頭



展望のない林の中。

20年4月3日にこの標識で納得いかず考え込んだ。確認のため暫く平指山方向に（その時は南と書いた）歩いた。道志の湯方向に行けばそれで良かった。その時の納得いかず感が有り今回の山行となった。そして分かった。道志の湯方面に行けば良い事が。思い込みで2年間もモヤモヤが気持ちに残った。



この浦安峠を指し示す標識で大界木山に向う道で間違いに事確信を得る。初めて浦安峠に降りた時の感動を思い出す。





目指す方向に見える山。大界木山だろうと思う。

浦安峠には鳥ノ胸山登山口の立派な道標が有った。ここから登る人は少ないだろう？



今は枯葉で少し隠れているが、林道全体が白い花崗岩で覆われている。岩肌も白い。2009年3月10日初めてこの峠に降り立った時の感動は鮮明に心に残っている。まるで、燕岳かと感激した白い大地だった。写真奥に（東）に行けば道志の湯に行けるが昭文社コースタイム1時間55分である。



大界木山への登山口は道志の湯と反対方向に僅か5m 位行ったところに有る。悲しい姿になった道標である。只、登山口は道標の向かい側。半分埋もれた梯子が見えなければ、登山口を探すのに苦労するかもしれない。

有るか無いかの踏み跡を進む。



コンパス頼りに薄い踏み跡を行く。



尾根を乗り換える時に間違えそうな所が2か所有りトラロープで止めて有った。下りでうっかりすると直進してしまうからだ。



大界木山と城ヶ尾峠の分岐点に着く。今日は大界木山に行って、この分岐に戻り城ヶ尾峠からスタート地点の落合橋に戻る予定。まずは大界木山に向う。

静かな大界木山山頂。何方か手袋お忘れですよ。今日はまだ誰にも会わない。



1人セルフタイマーで山頂写真を撮ろうと苦労していた時、若いハンターの方が一人で登って来た。「撮りますよ」と声をかけてくださったので、ハイポーズ！



明らかに猟銃と分かる入れ物を背負い明るいオレンジ色の制服(?)を着用していた。個人仲間では無く公務の様に見えた。

この日最初で最後の出会いでした。下山ルートを訊かれたので、道志の森キャンプ場と伝える。今日は神奈川県側に仲間がいて猟をすとの事。この尾根は山梨県と神奈川県の境界尾根。

ハンターさんにお礼を言い先程の分岐に戻り城ヶ尾峠に向かう。



城ヶ尾峠はこの3方向への分岐点。
今日は善の之木に下山予定だが、すぐそこに菰釣山へと続く城ヶ尾山があるので行ってみることにした。

10分足らずで城ヶ尾山山頂。後、3.5キロで菰釣山。広い山頂には勿論誰も居ない。



城ヶ尾峠に戻り、道志森のキャンプ場目指し下山開始。滑りそうな砂地を下りて涸れ沢を渡る。



すっかり崩れた道。ザイルありがとう。



下山開始直後は荒れた登山道だったが、後半は林道歩きが続き退屈だったが歩きやすかった。



壊れそうな橋だったので、水量の少なくなった沢を渡った。ついでに靴底を洗う。



水晶橋手前で大きなゲート有り、ゲート脇をすり抜ける。



水晶橋までは車で入れるが、道は荒れているのであまりお勧めできない。広い林道を歩き落合橋に帰着した。

